

1 次の文章を読んで、下記の問 1 ～ 問 5 に答えよ。

壬申の乱に勝利した天武天皇は、強大な権力を手にして中央集権を推し進めるとともに、国史の編さんにも力を入れた。712 年にできあがった **ア** は、^(a)天武天皇が宮廷に伝わる「帝紀」や「旧辞」を稗田阿礼に読み習わせ、それを太安万侶が筆録したもので、当時の日本語が漢字の音訓によって表記されている。また、舎人親王が中心となって 720 年に完成した **イ** は、神話の時代から持統天皇までの歴史が編年体という記述法で書かれている。

713 年には最古の地誌である **ウ** ^(b)が編さんされた。そこには諸国の産物、地名の由来、古老の伝承などが記されている。こんにちまで常陸など 5 か国の **ウ** ^(c)が伝わるが、出雲国について記したものだけがほぼ完全な形で残っている。

751 年には現存最古の漢詩集 **エ** ^(d)が編まれ、大友皇子、長屋王などの漢詩が収められた。当時の貴族や官人には漢詩文の教養が必要とされていた。

問 1 空欄 **ア** ～ **エ** に最も適当な語句を入れよ。

問 2 下線部(a)の国史の編さん事業が始まった理由を 50 字以内で述べよ。

問 3 下線部(b)の「編年体」について 20 字以内で説明せよ。

問 4 下線部(c)の「出雲国」は、ある都道府県の一部にあたる。その都道府県名を記せ。

問 5 下線部(d)の漢詩文の教養が必要とされた背景を 30 字以内で述べよ。

2 は次ページ

- 2 鎌倉時代の文化について、次の語句をすべて用いて、400字以内で述べよ。なお、語句を使う順序はこの通りでなくともよい。また、語句は何度用いてもよい。使用した箇所には必ず下線を引くこと。

蘭溪道隆	戒 律	題 目
忍 性	永平寺	専修念仏

3 は次ページ

3

次の文章 A、B を読んで、下記の問 1 ～ 問 5 に答えよ。

A 江戸時代の広域的な商品流通は、まず諸大名が年貢などで徴収した「蔵物」と呼ばれる物資を、大坂や江戸などに設けた に集中的に送り、売却する^(a)ことで盛んになっていった。やがて と呼ばれた蔵物以外の物資も集中するようになった。とりわけ大坂は多くの商品の集散地となった。消費者である多くの武士が住む江戸との間には、菱垣廻船などの定期便も運航され、積み荷の商品をあつかう問屋仲間が連合体をつくって^(b)、安全な取引をめざした。

B 江戸中後期になると、幕府は江戸や大坂の問屋仲間などを株仲間として公認し、流通の独占を保証するかわりに、 を徴収する例が増えた。しかし、流通網の多様化や、諸藩の専売政策などで、次第に江戸や大坂の問屋への商品供給が滞りがちになった。幕府の に際しては、株仲間が物価高騰^(c)の原因となっているとして、株仲間解散令が出された^(d)が、効果は乏しかった。幕末開港後には、特定の品目を江戸問屋経由で開港地に送ることを強制する も出されたが、反発も大きく効果はあがらなかった。

問 1 空欄 ～ に最も適当な語句を入れよ。

問 2 下線部(a)に関して、蔵物の売却に携わった 2 種の特権商人を何と呼ぶか。
その役割の簡潔な説明とともに 25 字以内で答えよ。

問 3 下線部(b)について、大坂で結成された問屋仲間の連合体の名前を答えよ。

問 4 下線部(c)について、幕府はなぜ株仲間の存在が物価高騰の原因になると考えたのか。40 字以内で答えよ。

問 5 下線部(d)について、この法令で指定された商品を、ふたつ挙げよ。

4 は次ページ

4

次の史料A～Cを読んで、下記の問1～問5に答えよ。なお、史料はわかりやすくするため、字体など一部を変えてある。

A 済南に於ける不祥事件の発生以来同地方の事態悪化し現在の兵力を以てしては居留民保護に万全を期し得ざる①憾^{うらみ}あるのみならず青島と済南とを連絡^{もつ}する山東鉄道^(a)は随所に破壊せられ交通の確保を期し難きの現状にあり(中略)今次陸兵の増派及び軍艦の増遣は済南事件に関連して生ずることあるべき不祥事件に対し居留民の生命財産を保護せんとする主旨に外ならず。

(注) ①憾^{うらみ} = 心残りに思うこと。

B 帝国政府は南京攻略後尚ほ①支那国政府の反省に最後の機会を与ふるため今日に及へり。然るに国民政府は帝国の真意を解せず漫^{みだ}りに抗戦を策し、内人民塗炭の苦みを察せず、外東亜全局の和平を顧みる所なし。よって帝国政府は爾^じ後国民政府を対^ご手とせず、帝国と真に提携するに足る新興支那政権の成立発展に期待し、是を両国国交を調整して更生新支那の建設に協力せんとす。

(注) ①支那 = 当時用いられた中国の呼称。

C 1 日本国と中華人民共和国との間のこれまでの不正常な状態は、この共同声明が発せられる日に終了する。

2 日本国政府は、中華人民共和国政府が唯一の合法政府であることを承認^(b)する。

問 1 史料Aは、1928年に日本の外務省が発した声明の一部である。この史料の内容も参考にして、次の解説文の空欄 ～ に最も適当な語句を入れよ。

解説文

当時政権を担当していた立憲政友会の 内閣は、中国の統一を目指す中国国民党国民革命軍の動きである によって、日本が満洲に有する権益が脅かされることを警戒していた。この史料は、以上の事情を背景に を名目に3次にわたって実施された の過程で発生した済南事件に関する声明である。

問 2 下線部(a)は、日本の権益の一部とされることが検討された時期もあったが、1922年の条約で中国に返還されていた。どのような経緯で日本の権益になることが検討されたのか、70字以内で答えよ。

問 3 史料Bは、1938年に日本政府が発した声明の一部である。この声明が発せられた際の日本の内閣総理大臣の名前を答えよ。

問 4 史料Bの声明を発した後、1940年にかけて日本側はどのような政権工作をおこなったか、史料の内容も参考にして50字以内で具体的に答えよ。

問 5 史料Cは、1972年に発せられた「日中共同声明」の一部である。下線部(b)の条項によって、日本が外交関係を断絶することになった政府は、どのような経緯で、どこに所在することになったどのような政府であったか、35字以内で答えよ。